

商品開発起業コース最終年の方針と 島スクエア起業教育研究センターの設立

岡野内 悟*

Policy of the Final Year of Business Course in Product Development and the Establishment of Shima-square Entrepreneur Education Research Center

Satoru OKANOUCHI

Abstract

Shima-square's business course in product development is a course to study the product development approach utilizing local resources of Suo-Oshima town with local motivated people. In this paper we report a policy of the final year of this business course in product development. Shima-square entrepreneur education research center is established to continue Shima-square project.

Key words: local reactivation, business course, product development, Shima-square, entrepreneur education

1. はじめに

「島スクエア」は、平成20年度文部科学省科学技術振興調整費事業（現在は科学技術戦略推進費）地域再生人材創出拠点の形成「山海空コラボレーションみかん島再生クルー」と題して採択されたプロジェクトの愛称である。このプロジェクトは人口減少と高齢化が進む地域で起業家を養成し、それぞれが得意とする能力を生かして事業に結びつけ、地域再生につなげようという試みで、地元の自治体と起業家および諸団体と協力して進めてきた。これまでの活動について様々な報告が成され、本年度で予算最終年度の5年目を迎える^{[1]-[9]}。

我々が実施しているのは、起業や新たな事業展開を目指す人材を養成するための講座と、修了生など意欲のある人が活動できる仕組みづくり（修了生支援）である。中でも、商品開発起業コースは、地元の地域資源を活用した商品や道具を開発し、新たな起業や事業展開を考えている人を対象とした講座で、今年で4年目となる^[6]。1年目は7組（10名）、2年目は8組（9名）、3年目は9組（11名）が修了し^{[1]-[3]}、その内の7組（11名）が販売活動などを行っている。

本論文では、最終年度を迎えた商品開発起業コースの方針と修了生支援の実施状況について紹介し^[10]、事業継続のため設立した「島スクエア起業教育研究センター」と今後の展望について述べる。

2. 商品開発起業コースの方針と実施状況

2.1 方針

4年目を迎える商品開発起業コースは、これまでの2年間と同じ方法で行う。

①講義内容：商品テーマを特に設けず、一般的な商品開発の基礎知識を学び、受講生が互いに試作、評価を繰り返しながら自分で商品を形にすることで、商品開発の手法を修得する。

②実施時期：6月から9月の4ヶ月。全13回。木曜19:00から21:30までとする。

③講師：受講生が目指す商品テーマに応じて決める。おおむね「食べ物」と「ものづくり」に関係した講師でほとんどカバーできる。

④修了要件：80%以上の出席（4回までDVDを見てレポート提出で可）。修了発表と発表資料の提出。

⑤受講生の募集：周防大島町ほか1市3町の広報、本校での説明会3回。

⑥説明会資料：パンフレット、島スクエア会報、志願書、受講上のお願ひ、カリキュラム。

受講生の決定に際し、来年度も講座実施が行えるか不明なため希望者は全て受け入れ、その結果、受講生は例年の2倍以上の22組（28名）となった。また、志願者との面接の時間を基本的に受講説明会の終了後に行う形とし、受講希望者に来校していただく時間を減らした。

2. 2 実施状況

講義の様子を図1、カリキュラムを表1に示す。



図1 講義の様子

表1 商品開発起業コースカリキュラム

平成24年度 商品開発起業コース(通称:山コース) ～商品開発の流れを身につけよう～

(スタッフ)

岡野内恒、藤井雅之、堀義則
山本信夫、森脇千香

講義時間

木曜 19:00-21:30

	講義名	講義内容	講師	場所
6月7日	商品開発概論	商品開発の流れ(事例)考えるべきポイント	山本信夫	視聴覚室
6月14日	市場・環境分析	現状分析(一般ニーズと地域資源)商品企画のための絞り込み	山本信夫	視聴覚室
6月21日	産業財産権	特許・商標など産業財産権についてIPDLによる実習	高橋主人	情報教育センター
6月28日	商品企画	商品企画書の作成 (必要により実習・補講・特別講義)	山本信夫	視聴覚室
7月12日	商品設計 試作・評価1	設計・試作品を持って来て、評価、改良点を検討	穴見信二 近藤直子	視聴覚室
7月19日	商品マーケティング1	商品のネーミング、キャッチフレーズコンセプトに合ったパッケージおよびラッピング	穴見信二	視聴覚室
7月26日	商品設計 試作・評価2	設計・試作品を持って来て、評価、改良点を検討	穴見信二 近藤直子	視聴覚室
8月2日	商品マーケティング2	効果的な宣伝・広告パッケージデザイン	穴見信二 永松 朗 近藤直子	視聴覚室
8月9日	補講	設計・試作品を持って来て、評価、改良点を検討	穴見信二 永松 朗 近藤直子	しまとびあスカイセンター
8月23日	商品設計 試作・評価3	試作品を持って来てパッケージやネーミングなど販売方法を含めて評価。検討して商品として仕上げる	穴見信二 永松 朗	視聴覚室
8月30日	販売・量産準備	完成した商品の安定的な生産・販売に向け、効果的な販売方法と流通、材料調達と在庫管理	中野幸浩 近藤直子	視聴覚室
9月6日	商品設計 試作・評価4	試作品を持って来てパッケージやネーミングなど販売方法を含めて評価。検討して商品として仕上げる	穴見信二 永松 朗 近藤直子	しまとびあスカイセンター
9月13日	まとめ発表準備	まとめ・発表準備(PPT作成含む)	穴見信二 永松 朗 近藤直子	しまとびあスカイセンター
9月20日		(発表準備 自習・補講)	スタッフ	数理計画
9月27日	修了発表①	(15:00から試作・指導・アドバイス)(18:30)商品を口頭発表・情報交換	穴見信二 永松 朗 近藤直子 戦略委員	しまとびあスカイセンター
10月4日		(発表準備 自習・補講)	スタッフ	数理計画
10月11日	修了発表②	(15:00から試作・指導・アドバイス)(18:30)商品を口頭発表・情報交換	穴見信二 永松 朗 近藤直子 戦略委員	しまとびあスカイセンター
		(必要により実習・補講・特別講義)		

今年度は受講生が多いため、視聴覚室や情報教育センターなど広い教室を使用した。また、受講生の商品企画などを発表する時間や試作のアドバイス、講師との個別相談の時間が十分とれず、補講を追加し、修了発表を2回に分けるなどして対応している。日程的にはまだ講座を終えていないが、21組(27名)の修了を見込んでいる。

3. 修了生支援の仕組みづくり

島スクエアとしてこれまで行ってきた起業支援、修了者支援の実施状況を表2に示す。

起業相談会は、受講生、修了生を地元の起業家、商工会や観光協会、NPO代表者など戦略委員と相談する時間を設けるもので、起業家養成基礎コースの講義や修了生の集まる機会にグループ相談や個別相談の形で行っている。

ニュースレターは、修了生、戦略委員のメールアドレス登録者へ、起業や今後の事業展開に役立つ情報を、電子メールで一斉に配信するサービスで、平成22年度から続けている。なお、メールを使えない方もいらっしゃるので、重要な事項は、郵送するようにしている。

特別講義や講演会は、講座の講義では不足した内容を補足する目的で開設したものであるが、単に必要な知識を得るだけでなく、これまでの修了生と受講生と一緒に過ごす時間を持ち、知り合う機会となり、今後の起業や事業展開に生かせることを期待している。内容は、財務会計、Web基礎、ものづくり紹介、自然体験リーダー資格取得のための講座などである。

フォーラムは表向きには本プロジェクトの年次報告会であるが、その年の修了生による口頭発表や修了生のポスター発表、商品試食・販売など、修了生にとって自分をPRする良い機会でもある。見学に来られた方の意見やアドバイスを聞いて知り合いを作るなど、修了者支援につながると考えている。

また、地域の賑わいの拠点づくりと修了生のテスト販売を行う実践の場を設けるため、地元漁協と修了生、地元の方が協力して「安下庄海の市」を始めた。

表2 修了者支援の実施状況

	起業相談会 [回]	ニュースレター [件]	特別講義	その他
2008(H20)	4	-	-	フォーラム
2009(H21)	4	-	-	フォーラム アンケート
2010(H22)	3	15	4種類	フォーラム
2011(H23)	3	19	5種類 講演会	フォーラム 海の市 情報交換会

図2の写真は、その様子である。

現在は、漁協の青年部などを中心とした実行委員会が毎月第4日曜に開催し、9月で11回を迎えた。平均的に約700人の人出がある。

一方、修了生の今後のためには互いに助け合っ
て活動できる、ネットワーク作りが不可欠である。
その足掛かりとして2月に、修了生の情報交換会
を開催し、50名以上が参加され、ポスター展示や
自分の商品を持ち寄り、近況報告などを行った。
現在、修了生の中でネットワークの拠点づくりに
協力いただける4名の方に戦略委員として入って
いただき、今後の島スクエアについて意見をうか
がいがいながら、ネットワーク作りを進めている。



図2 安下庄海の市

4. 島スクエア起業教育研究センターの設立

平成25年度以降の島スクエア事業継続のため、
昨年（平成23年）10月、周防大島町から旧山口
県立田布施農業高等学校大島分校の実習棟の一部
を借り受け、起業教育センターとして利用するこ
とが考えられた。図3は、旧田布施農業高等学
校大島分校の外観である。

この旧分校跡地は、地元の7団体が利用してお



図3 旧田布施農業高等学校大島分校の外観

り、図3の写真右の旧校舎エリアは、高齢者向け
住宅やデイサービス、ケアハウスとして利用され
る。また、奥の温室では果樹栽培、他の建物では
NPO法人事務所や資料館、科学体験教室などの
利用が予定されている。

センターの目的は島スクエアの理念である「起
業や新たな事業展開を目指す意欲的な人材を養成
し、それぞれの得意とする能力を生かして事業に
結びつけ、地域再生につなげようという取り組み」
を行う拠点であり、修了生や受講生、NPO法人
など地域の方々と一緒に使っていきたくと考えて
いる。今年4月、本校の施設として正式名称「島
スクエア起業教育研究センター」が認められた。
島スクエア起業教育センターの外観を図4に、入
口の写真を図5に示す。

図4のように旧実習棟の西側、1階の2部屋と
2階の2部屋を借り、1階は実験店舗と展示室、
2階は管理室と講義室として利用する。遅ればせ
ながら周辺の工事なども一段落し、利用に向けて
の修了生との意見交換会を10月に、開所式と「ふ
れあい市場」を11月から行う予定である。



図4 起業教育研究センターの外観



図5 起業教育研究センター入口

これからの活動内容は確保できる予算により規模が変わるが、目指す内容は次のとおりである。

(1) 講座の実施

昨年度実施した全講座を、表3に示す。

これまでの講座を同様に開設するのは難しいので、短期集中の講座や本校の教育研究を生かしやすい商品開発などの講座の実施を考えている。

(2) 起業や商品開発の支援

起業や商品開発、地域資源などの情報提供、簡単なアドバイス、適切な関係機関の紹介を行う。また、起業や新たな事業展開を考えている方に役立つ講演や講習、修了生、受講生や様々な方との交流の場の提供を行う。1階の実験店舗で商品のテスト販売を行ったり、様々なサービスを実際に試したりして、収益が見込めるか判断するための試行の場とする。

(3) 地域再生につながる専門分野の実践

本校教員などの専門を生かし、教育、研究、情報の整理・公開、方策の提案など実践の場とする。

(4) 地域交流、賑わいの場

ふれあい市場を定期的に行い、地元の産品なども

販売し、集客できるようになれば理想である。また、自分の得意なことを披露したり、もの作り、科学体験、学べるゲームなど、子供からお年寄りまで遊びながら学べる場としていく。実験店舗を機能させるためには、人が集まる必要がある。

5. おわりに

講座に毎回のように試作品を持って来られる方など、意欲的な人が多いことに感心している。島スクエアの活動は、意欲的な人が自立して活動できる仕組みづくり、情報提供、人を結びつけることであると感じている。

島スクエア起業教育研究センター運用については多方面と調整しながら、着実に整備して行きたいと考えている。

謝辞

島スクエアの活動を支えるため、様々な持ち場で数多くの教職員や地域の方々が関わっておられる。皆様に敬意を表するとともに、心より感謝致します。また、本活動は文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成の補助事業として行っています。記して、感謝の意を表します。

表3 平成23年度全講義

NO	実施日	コース・講義	講義時間	場所	NO	実施日	コース・講義	講義時間
1	5月25日(水)	空1	19:00-21:00	数理計画	54	10月5日(水)	空11	19:00-21:00
2	6月1日(水)	空2	19:00-21:00	数理計画	55	10月11日(火)	島10	19:00-21:30
3	6月2日(木)	山1	19:00-21:30	専攻科講義室	56	10月12日(水)	空12	19:00-21:00
4	6月9日(木)	山2	19:00-21:30	専攻科講義室	57	10月19日(水)	空13	19:00-21:00
5	6月11日(土)	海1	13:30-16:30	専攻科講義室	58	10月25日(火)	島11	19:00-21:30
6	6月15日(水)	空3	19:00-21:00	数理計画	59	10月26日(水)	空14	19:00-21:00
7	6月16日(木)	山3	19:00-21:30	数理計画	60	10月27日(木)	特商品仕上1	15:00-21:30
8	6月18日(土)	海2	13:30-16:30	専攻科講義室	61	11月1日(火)	島12	19:00-21:30
9	6月22日(水)	空4	19:00-21:00	数理計画	62	11月2日(水)	空15	19:00-21:00
10	6月23日(木)	山4	19:00-21:30	専攻科講義室	63	11月3日(木)	商船祭	10:00-15:00
11	6月26日(日)	海3	09:00-16:30	大会場	64	11月5日(土)	山1集中講座1	12:00-18:30
12	6月28日(火)	島1	19:00-21:30	専攻科講義室	65	11月6日(日)	山1集中講座2	09:00-16:30
13	6月29日(水)	空5	19:00-21:00	数理計画	66	11月9日(水)	空16	19:00-21:00
14	7月2日(土)	海4	13:00-17:30	専攻科講義室	67	11月10日(木)	特商品仕上2	15:00-21:30
15	7月5日(火)	島2	19:00-21:30	専攻科講義室	68	11月15日(火)	島13	19:00-21:30
16	7月6日(水)	空6	19:00-21:00	数理計画	69	11月16日(水)	空17	19:00-21:00
17	7月7日(木)	山5	19:00-21:30	専攻科講義室	70	11月26日(土)	安下庄海の市	9:00-14:00
18	7月9日(土)	海5	13:30-16:30	専攻科講義室	71	11月29日(火)	島14	19:00-21:30
19	7月12日(火)	島3	19:00-21:30	専攻科講義室	72	11月30日(水)	空18	19:00-21:00
20	7月13日(水)	空7	19:00-21:00	数理計画	73	12月3日(土)	山1集中講座4	12:00-18:30
21	7月14日(木)	山6	19:00-21:30	専攻科講義室	74	12月4日(日)	山1集中講座4	09:00-16:30
22	7月16日(土)	海6	13:30-16:30	専攻科講義室	75	12月6日(火)	島15	19:00-21:30
23	7月23日(土)	海7	9:00-17:30	専攻科講義室	76	12月7日(水)	フォーラム	19:00-20:00
24	7月26日(火)	島4	19:00-21:30	専攻科講義室	77	12月8日(木)	特Web基礎1	19:00-21:00
25	7月27日(水)	空8	19:00-21:00	数理計画	78	12月10日(土)	特財務会計	10:00-17:00
26	7月28日(木)	山7	19:00-21:30	専攻科講義室	79	12月13日(火)	島15追加	19:00-21:30
27	7月30日(土)	海8	13:30-16:30	専攻科講義室	80	12月14日(水)	空19	19:00-21:00
28	8月2日(火)	島5	19:00-21:30	専攻科講義室	81	12月15日(木)	特Web基礎2	19:00-21:00
29	8月3日(水)	空9	19:00-21:00	数理計画	82	12月18日(日)	講演会	10:00-12:00
30	8月6日(土)	海9	13:30-16:30	専攻科講義室	83	12月21日(水)	空20	19:00-21:00
31	8月9日(火)	空10	19:00-21:00	数理計画	84	12月22日(木)	特Web基礎3	19:00-21:00
32	8月11日(木)	次世代1	9:50-15:50	L.L教室	85	12月23日(金)	12月海の市	10:00-14:00
33	8月11日(木)	山8	19:00-21:30	専攻科講義室	86	1月11日(水)	空21	19:00-21:00
34	8月14日(日)	お盆祭り	13:00-16:00	大島文化センター	87	1月12日(木)	特Web基礎4	19:00-21:00
35	8月17日(水)	次世代2	9:50-15:50	専攻科講義室	88	1月14日(土)	特ものづくり	13:30-16:00
36	8月19日(金)	次世代3	9:50-15:50	専攻科講義室	89	1月18日(水)	空22	19:00-21:00
37	8月23日(火)	次世代4	9:50-15:50	専攻科講義室	90	1月19日(木)	特Web基礎5	19:00-21:00
38	8月27日(土)	次世代5	9:50-13:50	L.L教室	91	1月28日(土)	1月海の市	10:00-14:00
39	8月27日(土)	海10	13:30-17:30	専攻科講義室	92	2月4日(土)	フォーラム2012	12:00-16:00
40	8月28日(日)	海11	09:00-12:00	専攻科講義室	93	2月18日(土)	2月海の市	10:00-14:00
41	8月30日(火)	島6	19:00-21:30	専攻科講義室	94	3月11日(日)	修了生と講演	13:00-16:00
42	9月1日(木)	山9	19:00-21:30	専攻科講義室				
43	9月3日(土)	特海120ONE	13:00-17:30	専攻科講義室				
44	9月4日(日)	特海130ONE	09:00-16:00	生涯学習村				
45	9月8日(木)	山10	19:00-21:30	専攻科講義室				
46	9月10日(土)	特海140ONE	13:00-17:30	専攻科講義室				
47	9月11日(日)	特海150ONE	09:00-16:00	専攻科講義室				
48	9月13日(火)	島7	19:00-21:30	専攻科講義室				
49	9月15日(木)	山11	19:00-21:30	専攻科講義室				
50	9月20日(火)	島8	19:00-21:30	専攻科講義室				
51	9月22日(木)	山12	19:00-21:30	町立カサノ				
52	9月27日(火)	島9	19:00-21:30	専攻科講義室				
53	9月29日(木)	山13	18:30-21:30	視聴覚室ほか				

参考文献

[1]大島商船高等専門学校:山海空コラボレーションみかん島再生クルー2008~2009年報(2010)

[2]大島商船高等専門学校:山海空コラボレーションみかん島再生クルー2010年報(2011)

[3]大島商船高等専門学校:山海空コラボレーションみかん島再生クルー2011年報(2012)

[4]北風裕教ほか:地域再生を目的とした産学官連携の活動報告,大島商船高等専門学校紀要,第42号,pp1-pp10,(2009)

[5]岡野内ほか:「島スクエア」3年目の方針と実施状況,大島商船高等専門学校紀要第43号,pp.31-34(2010)

[6]岡野内ほか「島スクエア」商品開発起業コース3年目の方針と実施状況,大島商船高等専門学校紀要第44号,pp.7-10(2011)

[7]岡野内ほか「島スクエア」の活動と地域貢献への一考察,平成23年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集,pp.125-126(2011)

[8]大島商船高等専門学校:みらいへ架ける「島スクエア」会報誌VOL.2(2012)

[9]岡野内ほか「島スクエア」の活動と高専教育,平成24年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集,AP3_1_4(2012)

[10]島スクエアトップページ
http://www.oshima-k.ac.jp/shima-sq/